

2021年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
応用演技Ⅰ											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	オーハシヨースケ			実務 経験	有	職種	俳優・演出・演劇教育家				
授業概要											
インボディメント・エクササイズ ～身体性を深めるカラダ作り～ インボディメント(EMBODIMENT)の視点、すなわち心とカラダを一つに捉える視点から ドラマする力、演劇性を深かめる身体を練り上げるカラダ作りをする。											
到達目標											
相手を受け取る、言葉やイメージを受け取とれるカラダの感受能力をプロとしての俳優・声優、身体表現者の域に高める。 想いをリアルに身体で表現できる、象徴的な身体表現ができ声と動きとキャラクターを一体的に表現できる、ドラマを創る プロとしてのカラダのしなやかさと強度を身を高める											
授業方法											
毎回基本フィジカルトレーニングとして、3つのムーブ、3つのほぐし、言葉の体操(アハメーション)を実施。 カラダ＝ココロの原則に則り、各回一つのテーマに沿ったEMBODIMENTエクササイズを実施する。											
成績評価方法											
授業での積極性、こちらが出す課題への適格なプレゼンテーション、エチュードの表現力等を採点していく。 また、振り返りとしてレポートを提出してもらい、採点をする。											
履修上の注意											
フロアシューズなど上履き、ジャージ等体操着を着用。アリーナを他学科と共同使用なので使用上のルールを守る。											
教科書教材											
ベーシックテキストを使用。必要に応じて印刷物を配布。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 立つ～自分の重心を知る～重量を感じる 足裏で自分の重さを知るところから始める										
第2回	受ける・感受する : 重力を感受する相手を受ける～後ろ倒れ～ 昆布と波 2人組手裏剣で知るコミュニケーションの原則										
第3回	脱力: 筋肉弛緩法 脱力倒れ、 ねによる、ぶら下がり										
第4回	歩く: ふつうに歩く、後ろ向き・横向き歩き キャラクターと歩き方: 大きく歩く、小さく歩く、4つのキャラ別歩き方										
第5回	ゆだねる:金魚ゆすり 3人組振り子 ブラインドウォーク										
第6回	投げる:声息なげ、石投げ、ボール投げ 自分を投げ出す(前後左右倒れ) 未来に一步踏み出すカラダ自己とうき										

2021年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
応用演技Ⅰ	
第7回	押す引く： パントマイムの壁押し、気のボールの押し引き
第8回	アンサンブルと身体性：すり足で出会いと別れ～仕掛け開き 生垣を作る 手だけで作るカイロスとクロノス マシーンと生花
第9回	ジャグリングと身体性(1) 2つ玉、3つ玉 だめだできない. 苦手だと言わない、インナーゲーム理論
第10回	キャラクターと身体性(2)：マスク・仮面を使ってカラダを創る カラダの仮面を作る
第11回	象徴的フォルムと身体性：象徴的フォルムは心の形 今日の海、不思議な動物園
第12回	感情、情動、体性感覚と身体性：感情とからだ。非認知的能力とは？大泣き、激怒、喜怒哀楽の身体(全て声は無し)
第13回	声を身体化する：オイリュトミーの身体性。 動物発声、動きとカラダ、アワ唄 声とカラダの関係 響き歩き
第14回	癒しと身体性：癒しのフィジカル・スキル 癒しのヨーガ、マッサージング
第15回	自己実現の身体性：現在過去未来のカラダ カーテンコール 身体でイメージする